

プラム・ブルー情報

令和3年11月17日
JA 中野市営農センター
JA 中野市プラム部会

●お知らせ①

国の補助事業「産地パワーアップ事業」について

プラム部会は、令和2～3年の2年間で国の補助事業に取り組み、主に「雨よけアーチ」や「棚」の導入をすすめました。

次年度、雨よけアーチや棚の導入を希望される方は、12月下旬に申請説明会の開催を予定しておりますので、ご出席をお願いします。

説明会の日程等、詳細については後日改めてご案内いたします。

●お知らせ② 『シナノパール栽培者の皆様へ』

県主催 シナノパール果肉障害対策研修および剪定講習会の開催について

期 日 : 12月16日(木)

場 所 : 長野県果樹試験場

時間・内容 : ①午前10時～ シナノパール果肉障害対策研修会

②午後1時30分～ 棚栽培 整枝・剪定講習会

*栽培者の皆様のご出席をお願いいたします。

●今後の管理について

来年のシンクイムシ類の発生を抑えるために浅めの中耕(10cm程度)等を実施しましょう。

1. 凍害対策(主に6年生以下の幼木) — 成木は、ワラ巻きの実施

①塗布剤: フジホホワイト、又は農業用白ペンキ

②塗布時期: 根雪前(乾きやすい天気の良い日に塗布しましょう)

③塗布場所: 地際部から地上80cm程度までの主幹部にハケ等で塗布する。

上記の塗布をするか、わら巻きを実施して樹体保護に努めましょう。

★主幹部に塗布剤を塗布し、さらにワラ巻きを行うと防寒効果は高まります。

2. 野鼠対策

①根元の草はきれいに取り除く。また、園の周囲も除草する。

②密度を減らす。パチンコ、一斉駆除やヤソジオン、ラテミンリン化亜鉛などにて複合的に。

毒餌は手袋等を着用し所定量を鼠穴へ投与する。また、鼠が集まりやすいよう箱・タイヤ・ワラ等で囲った中に毒餌を入れておく。穴への投与は棒等で押し込み、穴を壊さないようにする。

古タイヤ、箱などを半分位土中に埋め、中に毒餌を入れる。15～20mに1本位。

裏面もご覧ください

3. 雪害防止対策 早い時期からの大雪に備え、枝折れや施設の倒壊が発生しないよう対策を講じる。

①徒長枝が繁茂している樹は、背面に雪が溜まりやすいため、徒長枝を整理しておく。

②積雪により倒伏が発生しないように主幹の固定を行う。(骨格枝はあらかじめ添え支柱)

③消雪剤を準備しておく。

★棚栽培は、棚の倒壊を防ぐため、中柱を入れ補強しておく。降雪の都度(棚面)樹上の雪を払い落とす。

4. 農薬散布：主幹害虫、カイガラムシ類、病害対策

落葉後(11月下旬頃)～萌芽前(3月中旬頃)まで

*コスカシバ対策 トラサイド A 乳剤 200 倍(休眠期、2 回)を樹幹部及び主枝に散布する。

*ふくろみ病(胴枯病)対策

『石灰硫黄合剤の 10 倍』を散布する。(ハウスビニールに飛散しないようにする。)

*カイガラムシ類対策

『スプレーオイル 30 倍+アプロードフロアブル 1000 倍』を散布する。

⇒ 合剤とスプレーオイルの散布間隔は 3~4 日空ける。

5. 施肥について

①毎年、同じ施肥をしている場合は、施肥方法の見直しをご検討下さい。

②果樹類全般の土壌分析結果を見ると、石灰・リン酸・加里が過剰な園地が多く、pHが高い傾向です。これにより、苦土欠乏やマンガン欠乏(葉色が薄い等の障害)が発生しやすい状況となっております。

③まず「土壌分析」を行ない、分析結果に基づいて足りない要素を補う施肥方法が理想的です。本年の施肥が終了している園地は、次年度からの取り組みをおすすめします。

(土壌分析の申込は園芸課・担当 横田へご連絡ください 連絡先 080-5147-8257)

6. 苗木の取扱い

*部会注文苗木の配布は 12 月 9 日頃の予定です。園地の定植準備をお願いします。

引き取り後は根を乾燥させない。 根部を 12 時間程度、水に浸してから定植する。

(苗木消毒は殺菌剤の浸漬を行う)